

佐賀の工業高校出身で活躍するパーソン

佐賀県内の工業高校、工業系学科がある高校(各項目とも順不同)

	高校名(所在地)	工業系の学科(全日制)
県立	有田工業(有田町)	セラミック、デザイン、電気、機械
	唐津工業(唐津市)	機械、電気、土木、建築
	佐賀工業(佐賀市)	機械、機械システム、電気、電子、情報システム、建築
	鳥栖工業(鳥栖市)	機械、電気、電子機械、土木、建築
	嬉野(嬉野市・塩田校舎)	機械、電気、建築
	多久(多久市)	総合学科内に工業技術系列
私立	敬徳(伊万里市)	自動車整備
	北陵(佐賀市)	電気情報、建築デザイン、交通サービス

(各高校のHPなどを基に作成)

佐賀県内にいる工業高校は有田、唐津、佐賀、鳥栖の4校で、工業系学科を持つ高校は、県立が嬉野、多久の2校、私立が敬徳、北陵の2校で計4校。県内企業にとっても、工業高校生は人手不足を解消し、将来を担う貴重な存在。佐賀で育ち、学んできた県内の工業高校生にとっても、佐賀愛を貫く地元企業に就職し、活躍することは大きな魅力だ。

当特集では佐賀県内の工業高校、工業系学科を卒業した佐賀県内企業で働く従業員たちに目撃、おまけに高校時代の思い出を語ってもらった。その上で、登場する従業員の周辺の人々(上司、先輩、同僚)から当該者への期待する声も伝える。

佐賀県内にいる工業高校は有田、唐津、佐賀、鳥栖の4校で、工業系学科を持つ高校は、県立が嬉野、多久の2校、私立が敬徳、北陵の2校で計4校。県内企業にとっても、工業高校生は人手不足を解消し、将来を担う貴重な存在。佐賀で育ち、学んできた県内の工業高校生にとっても、佐賀愛を貫く地元企業に就職し、活躍することは大きな魅力だ。

佐賀県内にいる工業高校は有田、唐津、佐賀、鳥栖の4校で、工業系学科を持つ高校は、県立が嬉野、多久の2校、私立が敬徳、北陵の2校で計4校。県内企業にとっても、工業高校生は人手不足を解消し、将来を担う貴重な存在。佐賀で育ち、学んできた県内の工業高校生にとっても、佐賀愛を貫く地元企業に就職し、活躍することは大きな魅力だ。

地元企業に就職 スキル磨き成長

佐賀県内にいる工業高校は有田、唐津、佐賀、鳥栖の4校で、工業系学科を持つ高校は、県立が嬉野、多久の2校、私立が敬徳、北陵の2校で計4校。県内企業にとっても、工業高校生は人手不足を解消し、将来を担う貴重な存在。佐賀で育ち、学んできた県内の工業高校生にとっても、佐賀愛を貫く地元企業に就職し、活躍することは大きな魅力だ。

佐賀県内にいる工業高校は有田、唐津、佐賀、鳥栖の4校で、工業系学科を持つ高校は、県立が嬉野、多久の2校、私立が敬徳、北陵の2校で計4校。県内企業にとっても、工業高校生は人手不足を解消し、将来を担う貴重な存在。佐賀で育ち、学んできた県内の工業高校生にとっても、佐賀愛を貫く地元企業に就職し、活躍することは大きな魅力だ。



モノづくりの基礎を幅広く学べる工業高校(イメージ)

モノづくり担う大きな戦力

SAGAの学び舎から巣立った私たちが、SAGAのモノづくりを盛り上げる。工業高校の授業では旋盤を使った実習などがあり、在学中にさまざまな国家資格の取得も可能だ。モノづくりの基礎を学べるため、卒業生は企業から将来を担う人材として注目されている。佐賀県にも工業高校工業系学科を持つ高校が県立・私立を含めて8校ある。工業高校工業系学科を卒業した人材は佐賀県内企業で大きな戦力として活躍している。

塩田工業高校(現嬉野高校) 卒



2024年3月に佐賀県立佐賀工業高校機械科を卒業し、同年4月に当社に入社しました。佐賀市出身で、高校では中学から始めたバレーボール漬けの日々でした。4歳上の佐賀工業バレーボール部の先輩で名村造船所に就職された方が練習指導で高校にいられていて、その後、当社の伊万里事業所(佐賀県伊万里市)に行く機会がありました。この工場見学で当社に興味を持ち、ここで働いてみたいと思いました。

森鉄工(鹿島市)

機械課 係長 伊東 真徳 さん

2012年3月に佐賀県立塩田工業高校(現嬉野高校)機械科を卒業し、同年4月に当社に入社しました。佐賀県鹿島市に生まれ育ち、鹿島の企業で働いています。塩田工業には野球をやれる環境、就職を考えて入学しました。機械科では機械加工から溶接、鋳造、製図など幅広く学びました。ただ野球も、勉強も野球漬けの日々でしたね。背番号「1」のエースで、主に4番打者だった野球部では全試合完投した高3春の佐賀大会で優勝し、九州大会に出場しました。シード校として臨んだ最後の夏は完投しましたが初戦敗退でした。現在は当社内の草野球チームに所属し、週末に時折楽しんでいます。

佐賀工業高校 卒



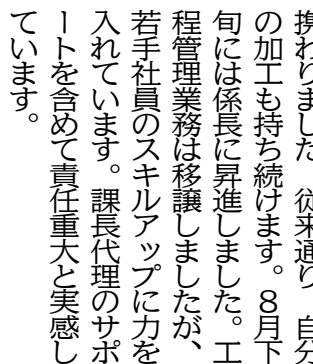
2024年3月に佐賀県立佐賀工業高校機械科を卒業し、同年4月に当社に入社しました。佐賀市出身で、高校では中学から始めたバレーボール漬けの日々でした。4歳上の佐賀工業バレーボール部の先輩で名村造船所に就職された方が練習指導で高校にいられていて、その後、当社の伊万里事業所(佐賀県伊万里市)に行く機会がありました。この工場見学で当社に興味を持ち、ここで働いてみたいと思いました。

名村造船所(伊万里市)

艦装部機装課 鶴田 光希 さん

2024年3月に佐賀県立佐賀工業高校機械科を卒業し、同年4月に当社に入社しました。佐賀市出身で、高校では中学から始めたバレーボール漬けの日々でした。4歳上の佐賀工業バレーボール部の先輩で名村造船所に就職された方が練習指導で高校にいられていて、その後、当社の伊万里事業所(佐賀県伊万里市)に行く機会がありました。この工場見学で当社に興味を持ち、ここで働いてみたいと思いました。

部品加工でモノづくりの経験値アップ



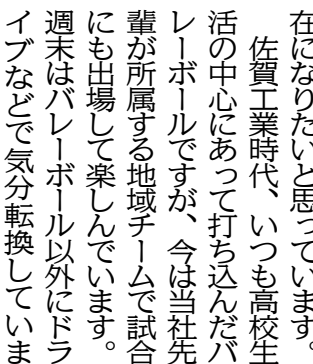
高2夏以降に監督として甲子園出場経験を持つ青野雅信監督が就任されてから練習も厳しくなりましたが、それを乗り越えて成長できたと思います。監督からは大学進学を勧められましたが、野球はやり切ったと思います。

高2夏以降に監督として甲子園出場経験を持つ青野雅信監督が就任されてから練習も厳しくなりましたが、それを乗り越えて成長できたと思います。監督からは大学進学を勧められましたが、野球はやり切ったと思います。



2024年3月に佐賀県立塩田工業高校(現嬉野高校)機械科を卒業し、同年4月に当社に入社しました。佐賀県鹿島市に生まれ育ち、鹿島の企業で働いています。塩田工業には野球をやれる環境、就職を考えて入学しました。機械科では機械加工から溶接、鋳造、製図など幅広く学びました。ただ野球も、勉強も野球漬けの日々でしたね。背番号「1」のエースで、主に4番打者だった野球部では全試合完投した高3春の佐賀大会で優勝し、九州大会に出場しました。シード校として臨んだ最後の夏は完投しましたが初戦敗退でした。現在は当社内の草野球チームに所属し、週末に時折楽しんでいます。

船が完成するときの感動 仕事の原点に

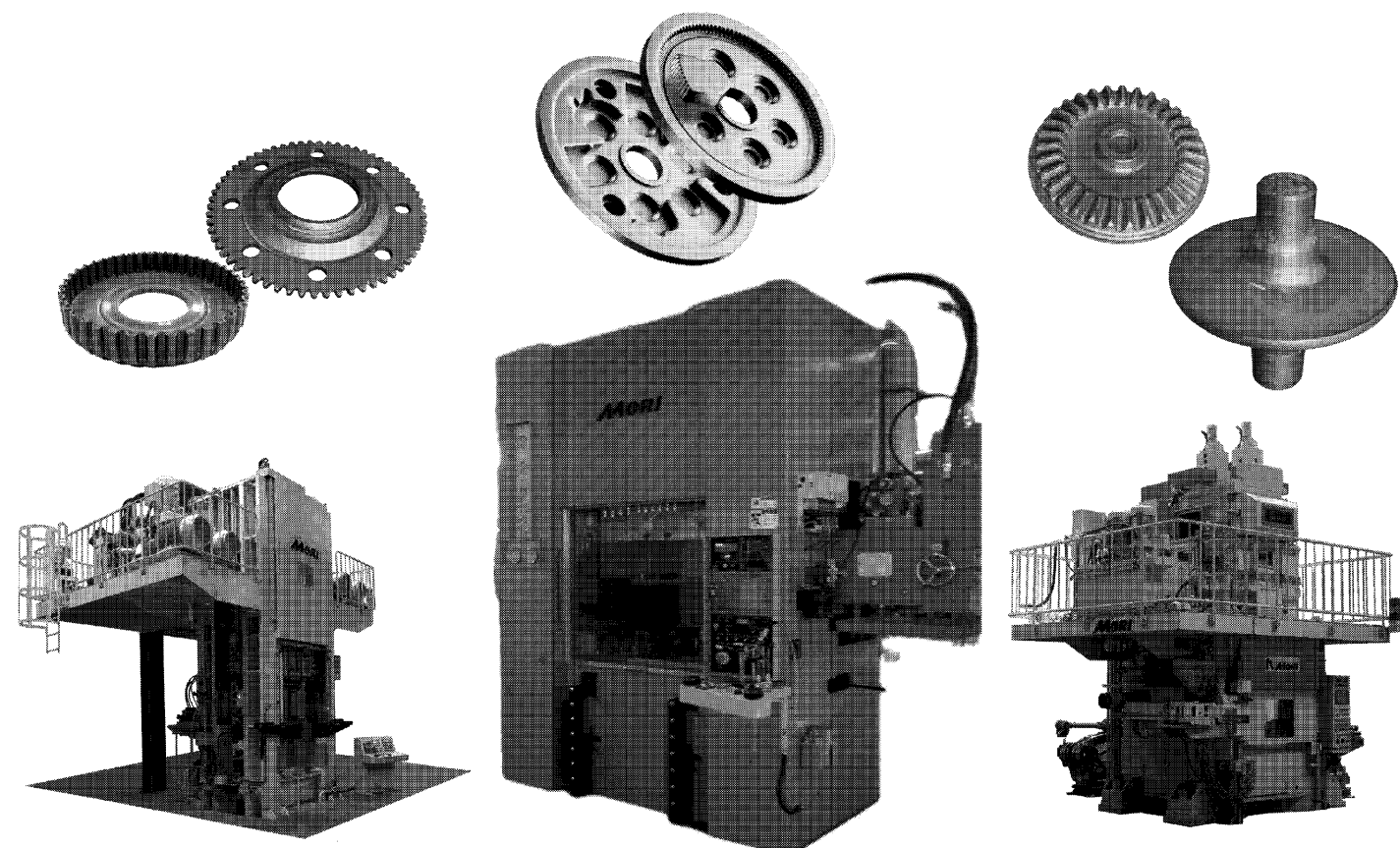


2024年3月に佐賀県立佐賀工業高校機械科を卒業し、同年4月に当社に入社しました。佐賀市出身で、高校では中学から始めたバレーボール漬けの日々でした。4歳上の佐賀工業バレーボール部の先輩で名村造船所に就職された方が練習指導で高校にいられていて、その後、当社の伊万里事業所(佐賀県伊万里市)に行く機会がありました。この工場見学で当社に興味を持ち、ここで働いてみたいと思いました。



2024年3月に佐賀県立佐賀工業高校機械科を卒業し、同年4月に当社に入社しました。佐賀市出身で、高校では中学から始めたバレーボール漬けの日々でした。4歳上の佐賀工業バレーボール部の先輩で名村造船所に就職された方が練習指導で高校にいられていて、その後、当社の伊万里事業所(佐賀県伊万里市)に行く機会がありました。この工場見学で当社に興味を持ち、ここで働いてみたいと思いました。

トータルソリューションで次世代のモノづくりを提案



多軸油圧サーボプレス

ファインプランキングプレス

揺動鍛造プレス

森鉄工株式会社
http://www.moriiron.com
(日本鍛圧機械工業会々員)

本社工場 〒849-1302 佐賀県鹿島市大字井手2078
TEL/0954(63)3141(代) FAX/0954(63)3157
中部営業所/TEL 0566(45)7381 東京事務所/TEL 03(3438)0539 大阪事務所/TEL 06(6303)4872 海外/上海、ソウル、タイ、トロント、ミュンヘン

造船は想像以上だ。

伊万里事業所(佐賀県)

8,700m³型LPG燃料ガス運搬船(全長230m)

六角川大橋(全長982m)

女性技術者も活躍中!

伊万里から世界へ発進。

名村造船所

採用情報はコチラから >>>
なむらうせんしょ

SAGAから全国へ、世界へ飛翔！

佐賀県内の工業・工業系高校出身者は県内企業で大きな戦力として活躍している。工業高校卒業生の「躍動」は産業界以外でも多岐にわたる。スポーツの世界ではキック時の独特なポーズがトレードマークの元ラグビー選手、五郎丸

歩さん(佐賀工業高校卒)は全国区で知られる存在だ。唐津工業高校を2019年春に卒業、現在は公営競技、ボートレースで25年は優勝7回(18日時点)のトップレーサーとして活躍する常住蓮選手に工業高校時代を振り返ってもらった。



つねずみ・れん 唐津工業卒業後に入所したボートレーサー養成所チャンプとして20年5月に唐津でデビュー。選手が勝率順に4段階の階級に分けられる中、最上位の「A1級」で活躍する。信条はあきらめず、泥臭く取り組むこと。透き通る刺し身のイカが名物の朝市で知られる佐賀県北部の呼子町(現唐津市)出身。24歳。

「練習は厳しくて当たり前だと思っていましたが、打てずに下級生にレギュラーを奪われそうになった時の苦しさは思い

インタビュー

ボートレーサー

常住 蓮 選手 (唐津工業高校 卒)

「入学の経緯は。『小学2年から幼なじみと一緒に野球を始めました。96年に唐工が夏の甲子園に初出場した時、叔父が出場メンバーでした。当時の甲子園出場を率いた青野雅信監督(現唐工部活サポーター〈部活動指導員〉)が再び唐工に監督として戻られていたこともあり、野球をしてきた仲間と一緒に唐工に進みました」



「唐工では土木科で学びました。『高校入学前からレーサーを志望していました。(艇に取り付けて動力源となるエンジンはレーサー自身の手の手によつて整備する必要があるため)工具などに触れる機会のある機械科の方が良かったかも知れ

興味あることは突き詰めて取り組んで

「『練習は厳しくて当たり前だと思っていましたが、打てずに下級生にレギュラーを奪われそうになった時の苦しさは思い

「『練習は厳しくて当たり前だと思っていましたが、打てずに下級生にレギュラーを奪われそうになった時の苦しさは思い

メッセージ

全国工業高等学校長協会 理事長

守屋 文俊氏 (東京都立中野工科高校校長)

2024年5月の学校基本調査によりますと、全国の工業高校は516校です。工業高校が最も多かったのが1975年で736校ありましたが、徐々に少なくなり現在に至っています。この学校数は延べ数で他の科との併置校も含まれています。現在、工業高校だけの単独校は250校にとどまっています。総合学科高校の単独校の学校数278校よりも少ない状況です。工業高校の生徒数は19万9712人。23年は20万3449人、19年は23万9204人でしたので、6年間で3万9492人の減少です。工業高校への安定した応募者数の確保は、全国的に共通の課題と

「チーム工業」として生徒たちを応援

全国工業高等学校長協会では工業高校の生徒のために何ができるのか、輝かせるためにはどうすべきか。「チーム工業」として、工業高校を前進させたいと考えております。さまざまな場面で活躍する工業系学科で学ぶ生徒たちに光を当てていきたいと思

唐津工業高校 卒

ワイビーエム (唐津市)

相原 高 雄 さん

2025年3月に佐賀県立唐津工業高校機械科を卒業し、同年4月に当社に入社しました。佐賀県唐津市出身で地元高校に入り、地元の企業に入社し、ずっと唐津での生活です。唐津工業に進学したのはモノづくりが好きなことが一番です。部活動は機械研究部の所属でした。ここで資格取得を目指すとともに、「高校生ものづくりコンテスト」出場に向けて溶接や鋳造、切削加工など機械加工の技術を磨いていました。在学中に、3級機械加工技能士(普通旋盤作業)などの資格取得ができました。高3の時は学校代表として「ものコン」佐賀県大会に出場したことは記憶に新しいです。機械研究部は工業高校の授業の延長というイメージです。放課後を含めて、モノづくりに没頭し続けた3年間だったと思います。高校では特に旋盤を扱うことに楽しさを感じていました。当

オンとオフの切り替え 仕事の活力生む

上司から

ワイビーエム 弘川 政也さん

1級技能士取得を

唐津工業では旋盤を中心に、当社の仕事で役立つことをしっかりと学んでいきます。これによって、入社時点からスムーズに取り組めていると思います。専門用語の理解度も高いです。集中して黙々と向き合う姿勢はモノづくりが好きなと感じることも、仕事に対する姿勢としても大いに評価しています。今後は技能者の向上とともに、周囲に認めてもらうためにも1級機械加工技能士(普通旋盤作業)取得を目指してほしいです。

工業高校卒業生が活躍する佐賀県内の企業

(順不同)

名村造船所 (唐津市)

ニシハツ (唐津市)

ワイビーエム (唐津市)

シンエイメタルテック (唐津市)

戸上電機製作所 (唐津市)

東亜工機 (唐津市)

森鉄工 (唐津市)

日刊工業新聞社九州中央支局は佐賀県の企業、工業・工業系高校を応援しています！

地下と水の技術で明日の美しい地球環境づくりに貢献する

技術で世界を動かす君へ。私達は工業系高校生を応援しています。

採用情報は、以下のQRコードからご確認ください。

YBM

〒847-0031 佐賀県唐津市原1534番地
株式会社ワイビーエム
TEL 0955-77-1121 FAX 0955-70-6010

SAGAの明日を切り拓き、支える！

校長メッセージ

鳥栖工業高校校長

山下 康孝氏



「夢 実現！」へチャレンジ続ける

1939年(昭和14)4月に創立した当校は現在、機械、電気、電子機械、土木、建築の5学科があります。佐賀県鳥栖市は九州陸上交通の要衝で、多くの企業や工場が集積しています。地域からはものづくり教育に取り組み当校に対して評価いただいています。2024年度の県内就職率は佐賀県が目標に掲げる約65%超を達成しました。県東部で福岡県に隣接する鳥栖市の立地もあり、県外から生徒が多く集まるのも当校の特徴の一つです。

今では全国的に数少なくなつた溶接炉(キューボラ)を使った実習を、県内では佐賀工業高校とともに当校も実施しています。

「夢 実現！」のスローガンとともに生徒はチャレンジを続けます。今後とも皆さま方のご理解と支援をよろしくお願い致します。

校長メッセージ

佐賀工業高校校長

原口 哲哉氏



人と社会を支えることに大きな価値

当校は1998年(明31)に佐賀県初の工業技術者の養成機関「佐賀工業学校」として誕生し、2025年度で創立128年目を迎えました。これまで地域や産業界の期待に応える人材を育成、輩出し続けてきました。技術者としての当校卒業生の活躍は地元だけでなく、全国そして海外に広がっています。

20年度には機械科、機械システム科、電気科、電子科、情報システム科、建築科の6学科に改編しました。社会情勢や産業構造の変革に応じた、ものづくり教育を実現できるようにしています。

近年、力を入れているのがロボット関連の教育です。さ

シンエイメタルテック (神埼市)

溶接部 主任 橋本 圭司 さん

鳥栖工業高校 卒



高校時代は土台固めの重要な期間

2013年3月に佐賀県立鳥栖工業高校電子機械科を卒業し、当校には22年4月に入学しました。佐賀県鳥栖市出身で福岡県内で働いていました。地元・佐賀で働きたい思いがあり、前職で溶接の仕事を経験があったことなどを評価頂いて当社に転職しました。

産業機械や生産設備などで鉄、ステンレスを素材とした部品の板金加工を手がける当社ではTIG溶接を主に担当しています。部品加工では大型のものから、手のひらに載るような小さなものも扱います。入社後3カ月間はバリ取り業務に携わったことも経験の幅が広がったと思います。

9月からは主任に昇格し、約10人のチームをまとめています。年配の方が大半の中ですが、会社から伝えられたのは「次世代を背負う人材として活躍してほしい」と。責任重大ですが、真面目な性格と自己分析していますので、それを良い方向に向けながら、奮闘しています。

入社時から真面目な性格だと思っていました。当初からモノづくりの技術を身に付けるための旺盛な向上心があるとすぐに分かりました。9月から主任に昇格しましたが、当社の役職者はしっかりと実力があれば評価されて登用されています。橋本君もその一人です。

彼個人の仕事である溶接の技術もさらに磨いてほしいです。責任感も強いので、その良さを生かして管理職の仕事や若手指導でも存分に力を発揮してほしいと期待しています。

上司から
シンエイメタルテック
三浦 真太郎さん
存分に力発揮を

仕事はチーム全体をまとめるとともに、他部署との連携が増えました。幹部ミーティングに参加する機会も出て、当社全体を見渡した上での仕事を進めていく必要があると実感しています。自分自身も入社時は丁寧な指導を受けて成長できた思いがあります。若手指導にもその時の思いを生かしたいですね。

モノづくりで達成感を得られるのが好きだったことが鳥栖工業に進学した原点です。4歳上の兄が同じ鳥栖工業電子機械科にいたことで身近な高校でもありました。在学時は危険物取扱者試験の種別第1・6種、第2種電気工事士などの資格を取得しました。電気工事士資格は当社内の照明設備で役立っていることもあります。

鳥栖工業の実習でたまたま入れた「SS 整理・整備・清掃

戸上電機製作所 (佐賀市)

システムエンジニアリング部

川浪 愛莉 さん



高校での学びに絶対に無駄はない

2022年3月に佐賀県立佐賀工業高校建築科を卒業し、同年4月に当社へ入社しました。高校では、CADや手書きによる図面の描き方、木材加工などを学びました。入学当初は、リフォーム番組の影響で大工に憧れ、高校2年時には大工技能士2級を取得しました。しかし、実習を通して体力的な厳しさを感ずるようになり、設計の知識を身に付けることに意識を向けるようになりました。

進路を考えていた高校3年の頃、当社から建築科向けの求人があることを知りました。最初は「電気会社だから建築とは関係ないのでは」と思いましたが、会社について調べると、建築の知識が生かせる部署があることを知りました。それが、現在所属している「水処理システムグループ」です。

当グループの業務内容は養豚・酪農業などの排水処理施設の設計や施工、定期メンテナンスで、建築と電気の両方の知識が必要になります。

最近では高校時代の学びを復習していますが、当時は「必要ないかも」と思っていたことや、成り行きで取得した資格が、今は役立っていると感じています。後輩たちには、「工業高校で学ぶことは絶対に無駄にはならない」と伝えたいです。

高校時代に夢中になって取り組んだことが、社会に出てから仕事に生かされたときの喜びは、学生のうちはなかなか味わえない感情です。だからこそ、後輩の皆さんにもその感動を伝えたいです。

同僚から
戸上電機製作所
緒方 太一さん
お客さまの信頼厚く

設計・積算なども、高校時代に身に付けた設計スキルを生かして、図面などの作成までこなして本当に助かっています。また現場観察能力が高く、周囲の人間が気付かないような不具合などを発見し、設備がより使いやすくなるように改善することにより、お客さまからの信頼も厚いです。

性格も明るく元気なので、事務所や現場で彼女のおかげで明るくなり、お客さまも笑顔になるような楽しい雰囲気になります。

創造×匠の技×人材

充実した機械設備と明るい職場環境、その快適な工場から洗練された「人材」と「技術」が生まれます。



～君の「好き」が未来を創る～

想像力と技術力で世界品質を目指す

シンエイメタルテック株式会社

所在地: 〒842-0065 佐賀県神埼市千代田町崎村 551 番地
事業内容: 精密板金、レーザー加工、各種曲げ加工、機械加工、溶接、各種金属製品の製造
ホームページ: <https://www.shinei-metttec.co.jp>



創業 58年

匠

人を育み、技術を磨き、明日を切り拓く。そして、次の百年へ。

戸上電機製作所の百年は、改善活動の歴史。技術力向上は勿論、職場環境や豊かな暮らしのための、創業当時から今に至るまで、駅伝の糧のように、次代へ次代へと改善の糧をつなげていきます。

株式会社 戸上電機製作所
〒840-0802 佐賀県佐賀市大財北町1-1
TEL0952-24-4111 FAX0952-26-4594
<https://www.togami-elec.co.jp/>

100th ANNIVERSARY
さあ 挑もう つくろう かえていこう

●電力システム機器●制御システム機器●環境機器●環境ソリューション機器●探査・測定機器

工業高校の学び舎から巣立った私たち

校長メッセージ

嬉野高校 校長



当校は旧塩田工業高校と旧嬉野高校の伝統を受け継ぎ、2018年4月から塩田校舎（工業科：機械、電気、建築と嬉野校舎（総合学科：社会福祉系列、商業系列）の二つのキャンパスを持つ嬉野高校として新たにスタートしました。2キャンパス間は10キロ程度です。スクールバスが行き来し、部活動は2キャンパスの生徒が毎日交流します。体育祭、文化祭、学習成果発表会などは合同で実施しています。

機械科では「高校生ものづくりコンテスト九州地区大会」の旋盤作業部門で当校3年の生徒が最優秀賞に輝きました。電気科は第一種電気工事士の資格取得者が多く、卒業生は全国各地で活躍しています。

原 美和氏

従来の課題研究から「探求型」授業に変革

専攻の資格取得者の割合が多く、企業から評価いただいています。建築科は測量士補の試験で高合格率を誇ります。佐賀県で開かれた24年の国民スポーツ大会の会場向けに当校生徒が手がけた花壇を寄贈しました。

当校では従来の課題研究から「探求型」の授業への変革に取り組みしています。地域や企業は何らかの課題を抱えています。それに対して生徒たちが自ら考えて、課題を克服するために授業を通して、何ができるかを探ることがテーマです。

今後は工業科、総合学科が併設された「ものづくり教育・ひとづくり教育」を実践する高校としても、当校にしかできない工業、商業、福祉が融合した教科横断的につながる取り組みを探索していきたいと考えています。

これからも、皆さまのご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

校長メッセージ

唐津工業高校 校長



当校は2024年に創立80周年を迎えました。唐津市を中心とした地元出身の卒業生も多く、地域に支えられています。また、当校卒業生は、唐津市を筆頭に佐賀県内の企業などで活躍しています。

学科は機械科、電気科、土木科、建築科があり、実践的で専門的な教育を実施しています。工業高校における教育活動の軸となる、ものづくり教育も重視しています。実習時間、部活動などで技術力、現場対応力を養っています。4科で学ぶ生徒たちの資格取得も後押しし、生徒たちには技術を磨き、専門性を高めてほしいと願っています。

部活動を通して人間力の育成

神近 正氏

人材確保、企業からの注目度高まる

成も重要だと考えています。「ものづくりによる人づくり」、「部活動等による人づくり」を本校の大きな二本の柱とし、ビジョンとしています。生徒のリーダーシップ、協調性、責任感を育てることに力を入れています。

少子化が進む時代背景もあり、人材確保の面で企業から当校への注目度が高まっているのを実感します。佐賀県内だけでなく、九州以外を含めた県外企業からも求人が増えています。地元企業を中心に、当校生徒のインターン（就業体験）の受け入れにも協力いただいています。

生徒が安心して学習でき、安全に生活できる学校にするために、教職員一同、総力をあげて取り組んでまいります。地元を含めた幅広い皆さまの当校に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

東亜工機（鹿島市）

横田製造部 工作課 河村 拓海 さん

嬉野高校 卒



2023年3月に佐賀県立嬉野高校塩田校舎機械科を卒業しました。6歳上の兄が旧塩田工業高校（現嬉野高校）卒で兄は建築科でしたが私は機械科でモノづくりに興味を持ったのが進学理由です。在学中に3級機械加工技能士（普通旋盤作業）などを取得したほか、21年度の佐賀県技能競技大会成績優秀者の表彰も受けました。

卒業後、県外企業に就職しましたが、高校の同級生から当社で技能五輪に出場しているの聞き、私も挑戦したくなりました。ご縁をいただき、24年3月に出身地の企業でもある当社に入社しました。

当社では安全面などの研修後、技能五輪フライス盤職種選手として、社業からは離れて競技に向けた練習に専念しています。技能五輪に出場するには技能検定の2級に合格することが前提です。入社3カ月後にフライス盤2級の実技に合格し、大会出場の資格を得ることができました。

フライス盤の技能五輪選手 練習に専念



技能五輪への参加は刺激も多く、充実感も大きいです。ただ、当社入社後2回参加した技能五輪では競技規定を満たせずに思うような成績を残せず、悔しさが募ります。技能五輪全国大会の参加資格は満20歳以下で、現在20歳の私はあと2回出場できます。加工手順を突き詰めるなど練習を積むしかないと思います。応援してくださる当社の皆さんの期待に応えたいです。

高校で学んだのは旋盤中心で、フライス盤を扱うのは当社入社後ゼロからでした。それでも測定工具の使い方や寸法の測り方は、フライス盤の選手としても役立っています。

技能五輪全国大会で当社の先輩がこれまで競技で一定レベルをクリアすることにより、技能

証を獲得されたことがありません。今後に向けて私も技能証、さらにその上を目指して日々精進し続けます。

高校ではモノづくりを学ぶ一方、3年間野球部に所属していたことも思い出になっています。工業高校・工業系高校の生徒たちにはいろいろなことに興味を持ち、幅広く学んでほしいと思います。

先輩から

東亜工機 大畑 将吾 さん

技能五輪で大きく成長

当社入社後、初めてフライス盤に向かっています。約1年半という短期間で技能五輪選手として大きく成長してくれています。フライス盤指導を担う私も前は選手でしたが、技能五輪は誰もが挑戦できることであります。大会出場を通じて学んだハイレベルな基礎技術は社業でも必ず役立ちます。

いずれ選手を退く時が訪れます。その時は製造現場で当社が手がける船舶部品などの技術を高める存在であってほしいと思います。

ニシハツ（唐津市）

生産部門 設計部 作本 一晟 さん



2015年3月に佐賀県立唐津工業高校電気科を卒業し、同年4月に当社に入社しました。佐賀県唐津市出身で小学3年から始めたパドミントンを続けるため、就職のことも考えて地元の唐津工業に進学しました。パドミントンで活躍された先輩がいたことも大きかったです。高3の時は個人対抗ダブルスでインターハイに出場しました。高校時代はパドミントン中心の日々だったと思います。

当社に入社したのは高校の先輩の親戚がいて「良い会社だよ」と聞いていたのがきっかけです。その上で求人もありタイミングが合致しました。入社後は非常用電源として使われる自家発電装置の設計・開発などに幅広く携わっています。

高校では第一種電気工事士の資格を取得しました。仕事にかかわる実践的な部分は入社後に身に付けてきましたが、高校時代に学んだ電気関連の基礎は根底で役立っていると思います。現在は生産設計課で非常用発電

勉強の継続と気になる点の迅速確認 意識を



機を当社工場で製造するための図面制作や使用する部品を選定することが主な仕事です。発電機がしっかりと稼働しているの聞こえ、社会貢献の一翼を担っている実感があります。

これまでの仕事では災害対策としても注目度が高まっている移動用電源車の開発に携わったことなどが印象的です。当社は1月に新工場が稼働しました。デスクワーク中心ですが、事務所から見える工場でモノづくりの社内環境は大きく改善しました。その場で温かいメニューが配膳される食堂も併設されて、福利厚生も充実したと実感しています。

パドミントンは地域の社会人チームで県内大会に参加するなど、回数は減りましたが今も継続しています。出身は玄界灘にある加唐島です。週末は島の

上司から

ニシハツ 村上 友洋 さん

後輩の育成に力発揮を

お客さまから発注を受けた非常用発電機を製造するため、工場に詳細な指示をする業務です。電気図面の作成だけでなく、板金図面も作成します。入社11年目で開発や設計などで幅広く経験を積み、その知識を生かして仕事に取り組んでくれています。

当社は新卒・中途を含めて若手社員が入り続けています。新しいことを覚える必要がある一方で、今後は後輩の育成にも培ってきた力を発揮してほしいと期待しています。

ニシハツ Denyoグループ 株式会社

- 三相自家発電装置 (20kVA ~ 1250kVA)
- 単相自家発電装置 (5kVA ~ 100kVA)
- 極超低騒音形自家発電装置
騒音値 / 65dB (60kVA/105kVA/135kVA)
- CVCF タンデム自家発電装置
- 移動用電源車

機器のメンテナンスもニシハツに
お任せください！

新本社・工場が
稼働しました！

本社・工場
佐賀県唐津市千々賀639-1
TEL:0955-78-1115
FAX:0955-78-1616
(TEL/FAXは変更ありません)
URL:https://nishihatsu.co.jp

営業所
東京:03-3662-2151 / 仙台:022-290-9540
名古屋:052-726-8270 / 大阪:06-4868-5640
広島:082-208-3304 / 福岡:092-483-4211
鹿児島:099-812-8701 / 沖縄:092-483-4211
ナガサキ:0955-78-1815

TOA 船舶用シリンダライナのトップメーカー

Toa Koki Co.,Ltd.

シリンダくん ライナくん

〒849-1314
佐賀県鹿島市大字山浦丁1430番地30
TEL 0954-63-3236 / FAX 0954-63-3240

東亜 東亜工機株式会社

QRコード

TOAKOKI HP